

# 山 口 新 聞

平成 25 年 8 月 23 日 (金)

NO.68

農地・水・環境



68

ポタル同好会は、ポタルの幼虫を飼育し、地域の子供たちと共に放流している。この活動によってポタルが自然発生するまでになり、

を見させている。さらに新規就農者2人が移住してくるなど、若い力も加わって地域はますます活性化している。

「つかり水と緑の会」を、2007年に発足させた。構成員の一つ東荷ゲンジ

毎年6月初めには鑑賞の集い「ポタル祭りINつかり」を開催している。

## つかり水と緑の会 (光市)

## 農業振興、観光発展へ

今後これらの取り組みを継続し、美しい農地を保全管理するとともに、地域の農業振興・観光へとつながる活動を展開し、地域のさらなる活性化に結びつけていきたい。

(書記、森田悦登)

— 金曜日掲載 —



光市北部に位置する東荷地域は、初代内閣総理大臣の伊藤博文の出身地として知られ、盆地の中に美しい田園風景が広がっている。美しい地域を守り、発展させていくために、農家や自治会、各種組織で構成する

皆様のホタルの放流作業



11年にオープンした市農業振興拠点施設「里の厨」の農産物販売所やレストランには、市内外から多くの人が集まり大変な賑わい

【メモ】会長 河井勉  
 ▽会員 250人、農家 (208戸)、農事組合  
 法人つかり、自治会 (石原、東、新市、横尾、大平、野尻、樋ノ口、黒杭)、藤公の里見守り隊、東荷ゲンジポタル同好会、東荷寿クラブ、東荷小学校PTA、大和土地改良区  
 ▽設立 2007年5月28日  
 ▽連絡先 光市東荷2391の19の「里の厨」、森田悦登さん ☎0820・49・0831